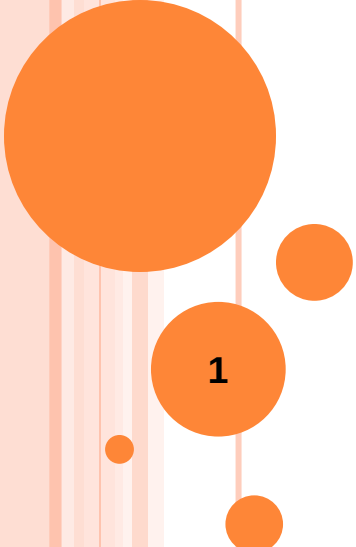




OSGiを用いたサービスブローカ

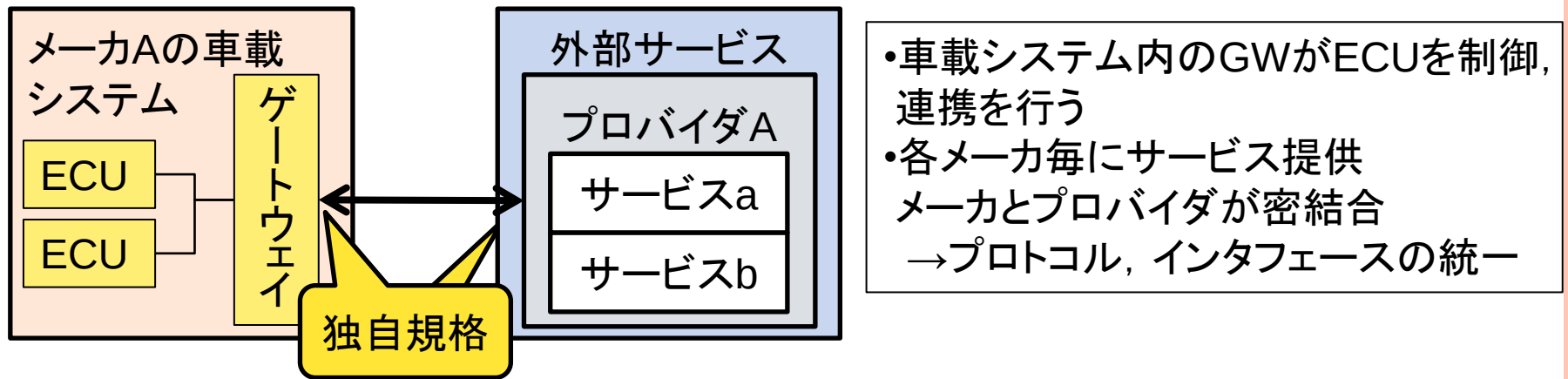
1

2008MI011 朝倉知也

2008MI079 岩井 大

1. 車外サービス連携の現状
 - 1.1 現状の問題点
 - 1.2 OSGiブローカを用いたモデル
2. OSGi - 実装 -
3. 課題
4. 参考文献

○ 近年のサービス連携の現状



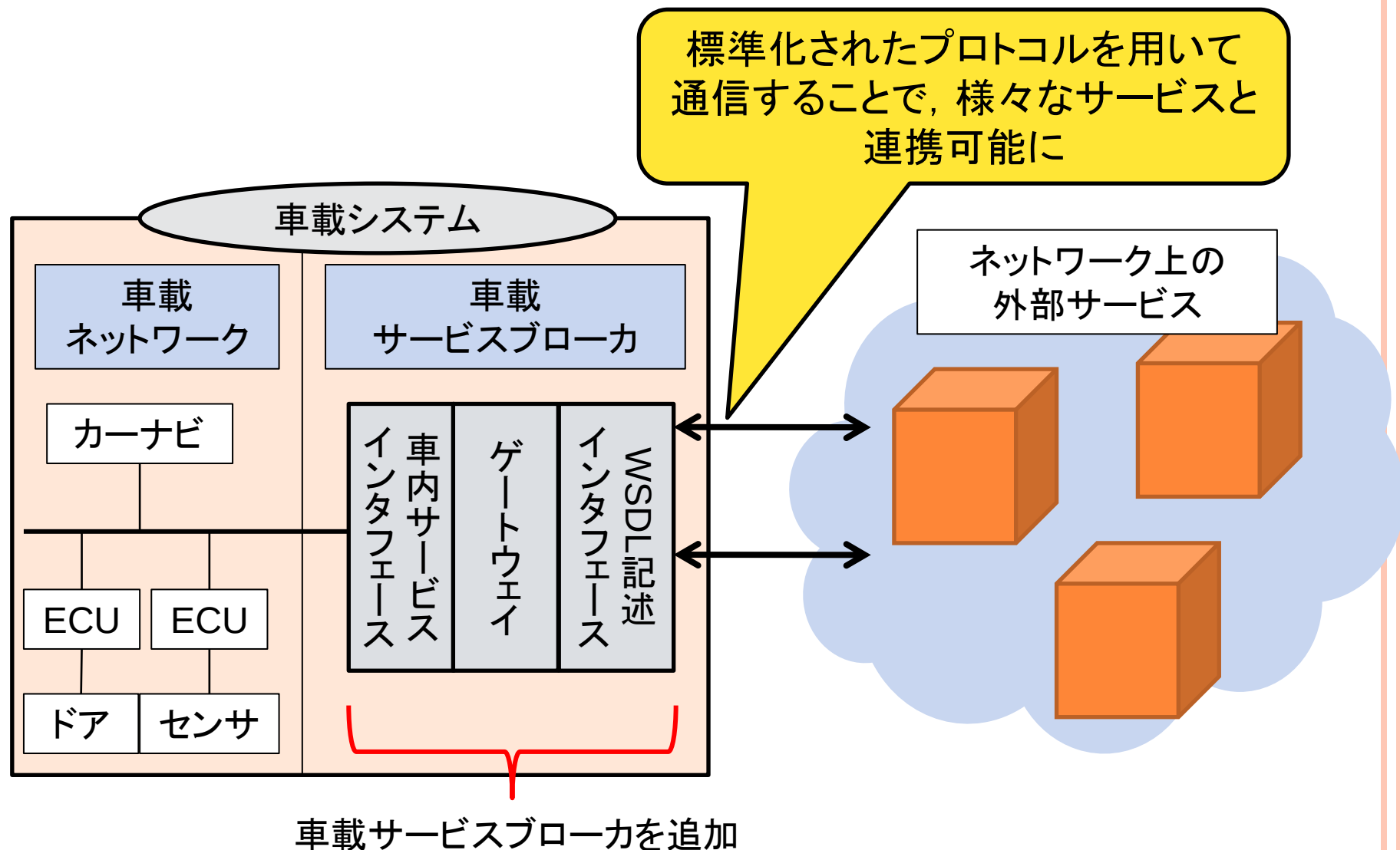
○ 問題点

サードパーティサービスや異なるメーカーとのサービス連携が困難
→ 解決方法のひとつとして, SOAPやRESTなどを用いて標準化されたメッセージプロトコルの適用が考えられる



メッセージ変換を行うシステムを追加する必要がある
⇒ サービスブローカの実現によって解決

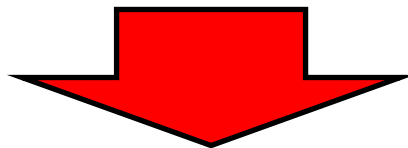
1.1 車外サービス連携の問題点(2/2)



OSGi

OS上のJavaVMのプロセス上で実行され, 単一のJavaVM上で複数のBundleを実行可能

特徴
・組み込みシステムが前提の実装の為, 省メモリ ・機能の修正・追加が容易(ネットワークから取得) ・複数のBundleを相互連携可能



OSGiをサービスブローカに用いる

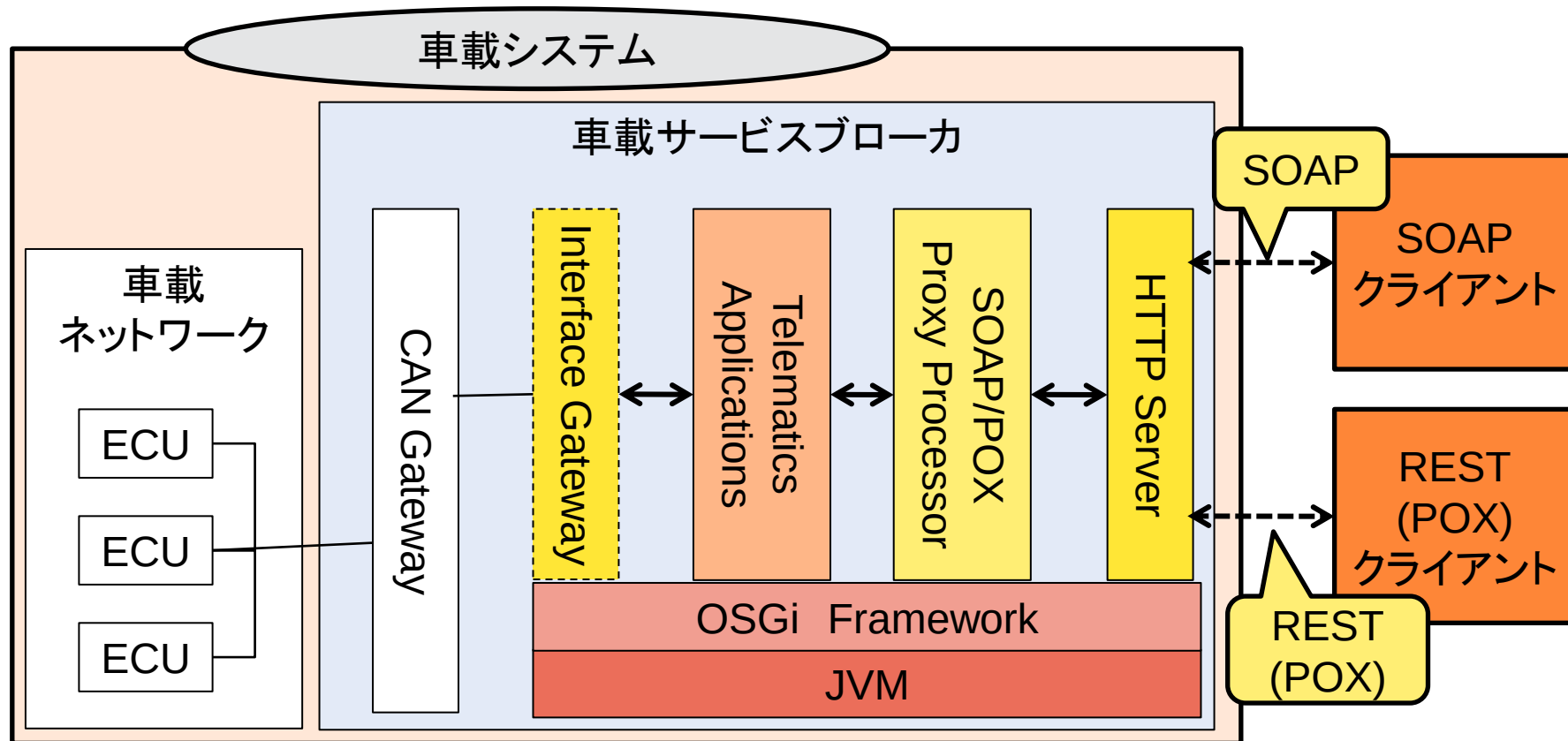
- ・新サービスの追加の際, 連携に必要なBundleのみをネットワークからダウンロード, インストールを行うだけでよい
- ・Webとの通信を行うBundleが提供されている為, 外部連携を容易に行える

1.2 OSGiブローカを用いたモデル(2/2)

資料から提案された車載サービスブローカアーキテクチャ

↔ ... Bundle間連携

Interface Gateway は今回の実装では用いていない



○ 実装するサービス

前述モデルに従い、車外から車内のドアロック状態を取得するサービス.

→ 車外クライアントから車内ECUに接続, 状態を取得し表示.

○ 実装手順

1. 前述モデルを構成する四つのプログラムを実装.

(ECU, CANGW, ServiceBundle, Client)

2. 実装したプログラムを異なる四つのPC上で実行, Clientから接続を行い, 挙動を確認する.

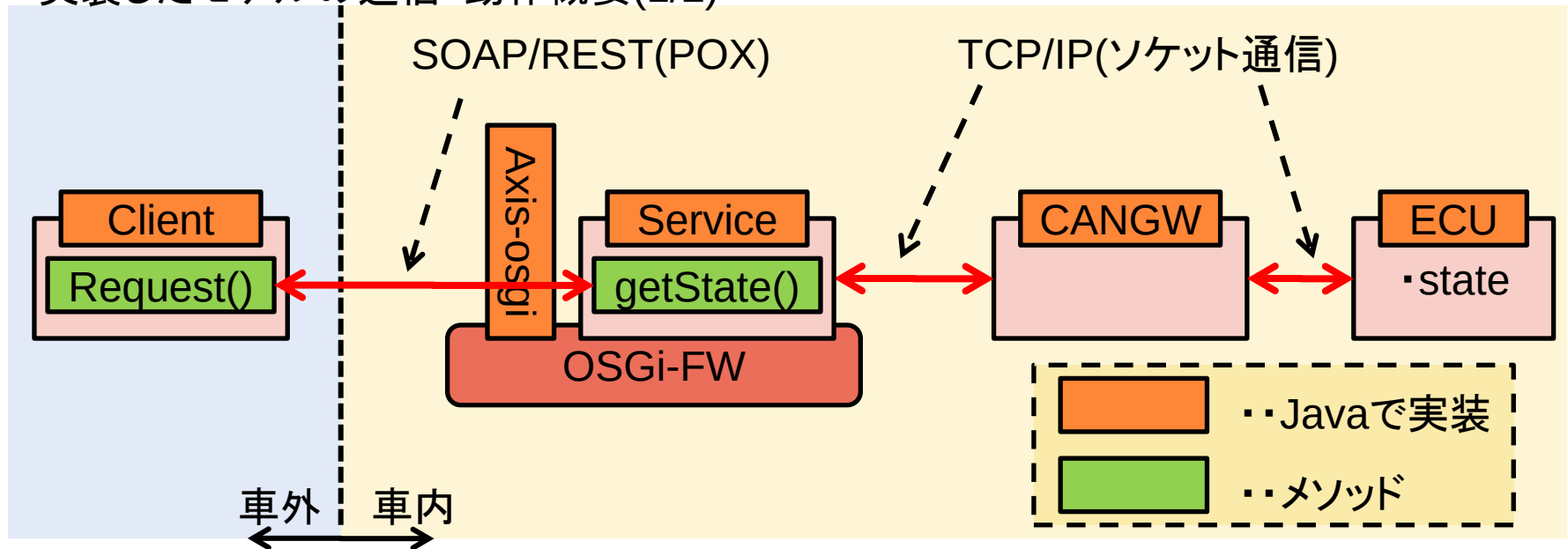
○ 備考

- ・外部と内部の通信にはSOAP/REST(POX)の二種類を実装し, 実行する.
- ・内部の通信にはTCP/IPを用いる.

2. OSGi – 実装・プロトタイプモデルの構築(2/9) –

8

実装したモデルの通信・動作概要(1/2)

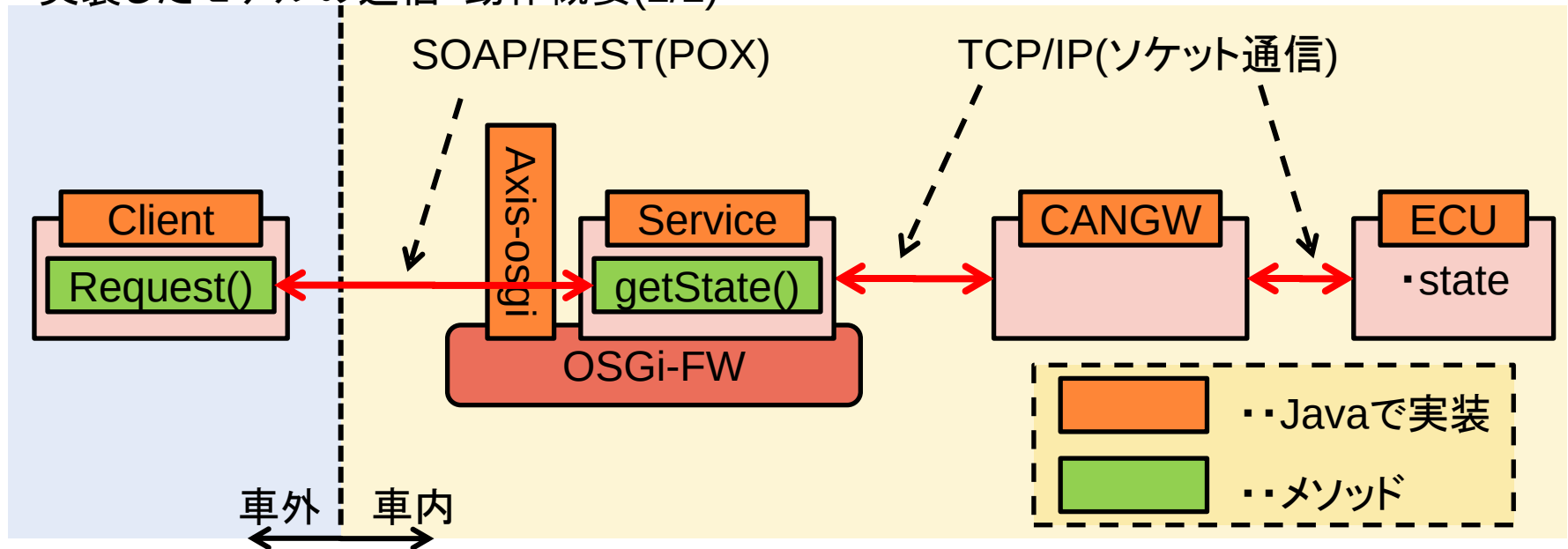


装置	実装	備考
ECU	Java	代替品
CANGW	Java	代替品
Service	Bundle(Java)	Axis-osgiを用いてサービスを外部に公開
Client	Java	SOAP/REST(POX)の二種類を作成

2. OSGi – 実装・プロトタイプモデルの構築(3/9) –

9

実装したモデルの通信・動作概要(2/2)



装置	動作概要	使用PC
ECU	ドアロック状態(state)を保持し, 通信が発生した場合stateを返す	PC1
CANGW	Serviceからの接続に対応してECUに接続, 取得したstateを返す	PC2
Service	Axis-osgiを用いてgetState()を外部サービスとして公開する (getState(): CANGWに接続し, ECUのstateを取得し返す)	PC3
Client	外部サービスとして効果されているgetState()を利用し, ECUの状態を取得する	PC4

1.1 ECU, CANGWの実装

通常のJavaプロジェクトとしてECU, CANGWを作成し, 実装する.
内部通信にはTCP/IPを用いる為, あらかじめ接続先PCのIPとポートを確認しておく.

ECUのソースコード(一部)

```
public class OSGi_01_ECU {  
  
    static Socket soc = null;  
    static ServerSocket svsoc = null;  
    public static final int PORT = 8190;  
  
    public static String state = "lock";  
}
```

接続されるCANGWの
ポート

ドアロック状態

CANGWのソースコード(一部)

```
public class OSGi_01_CANGW {  
  
    static Socket socE = null;  
    static Socket socB = null;  
    static ServerSocket svsocB = null;  
  
    public static final int PORTE = 8190;  
    public static final int PORTB = 8191;  
    public static final String addE = "10.63.6.216";  
}
```

接続するECUの
ポート

接続される
BundleService
のポート

接続するECUを
動作させるPCのIP

1.2 BundleServiceの実装

BundleServiceをBundleプロジェクトとして作成する.

ECU, CANGWと同様, 接続先のIP/ポートを確認しておく.

プロジェクトの構造

start(), stop() が記述

公開するサービスのインタフェース

公開するサービスの実装

マニフェストファイル

公開サービスのソースコード(一部)

```
public class getStateServiceImpl implements getStateService{  
  
    public String getState(){  
  
        Socket soc = null;  
        final int PORT = 8191;  
        final String add = "10.63.6.13";  
        String resStr = "";  
  
    }  
}
```

接続するCANGWのポート

接続するCANGWのIP

1.3 Client(SOAP/REST)の実装

SOAP又はREST(POX)でリクエストを行うClientを作成する.

REST(POX)クライアントのソースコード(一部)

```
public class ClientPOX {

    public static void main(String[] args) throws MalformedURLException,
        IOException, ParserConfigurationException, SAXException {

        // URL url = new URL(
        // "http://localhost:8080/axis/services/test02?method=TestRequest");
        URL url = new URL(
            "http://10.63.6.10:8080/axis/services/getStateMethod?method=getState");
        HttpURLConnection urlcon = (HttpURLConnection) url.openConnection();
        urlcon.setRequestMethod("GET");
        urlcon.setInstanceFollowRedirects(false);
        urlcon.setRequestProperty("Accept-Language", "ja;q=0.7,en;q=0.3");
```

SOAPクライアントのソースコード(一部)

```
public class ClientSOAP {

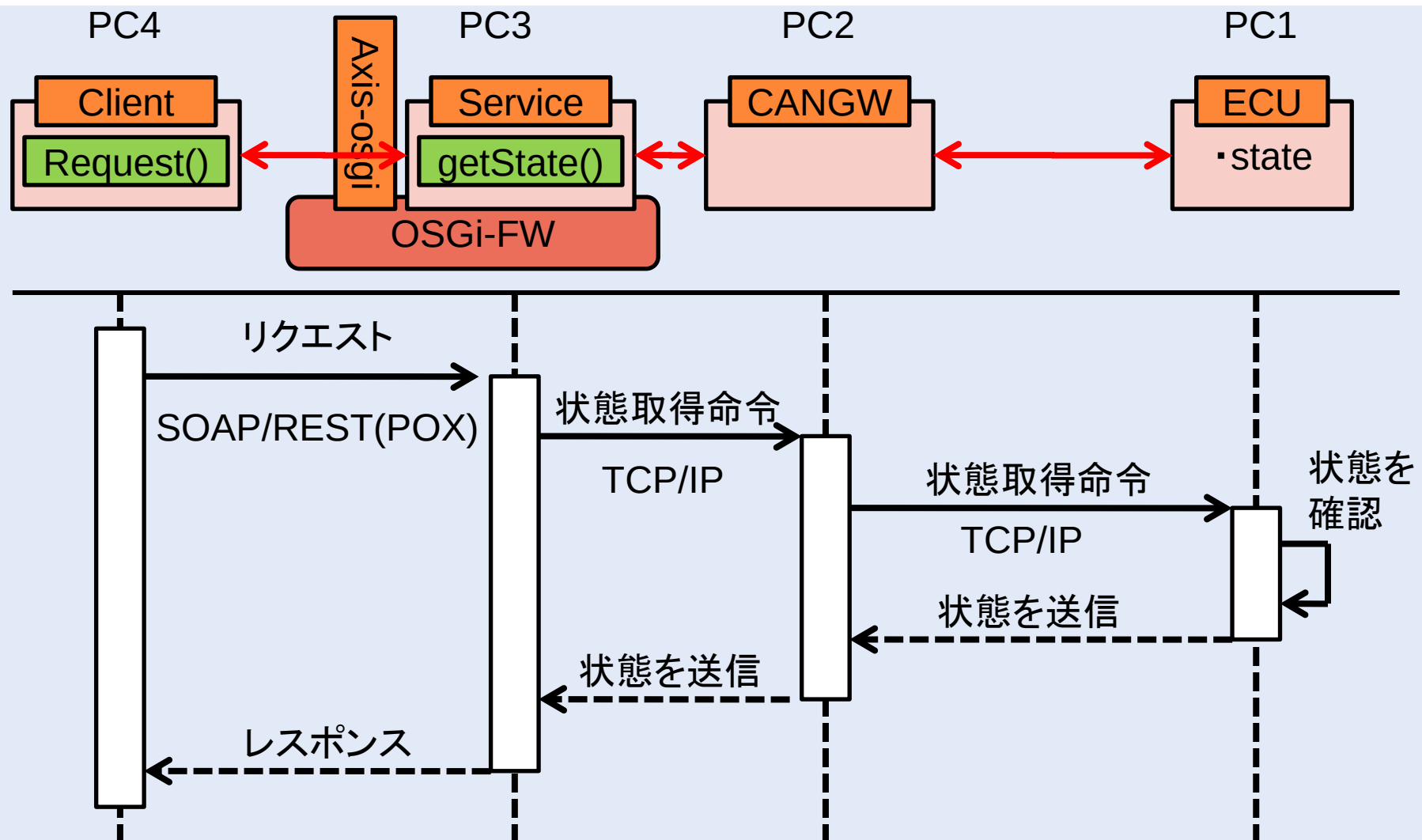
    public static void main(String[] args) throws Exception{

        // String endpoint = "http://localhost:8080/axis/services/test02";
        String endpoint = "http://10.63.6.10:8080/axis/services/getStateMethod";

        Service service = new Service();
        Call call = (Call)service.createCall();
        call.setTargetEndpointAddress(new java.net.URL(endpoint));
        call.setOperationName(new QName("http://10.63.6.10:8080", "getState"));
        call.setReturnType(XMLType.XSD_STRING);
```

2.1 実装したプロジェクトをエクスポート

ECU, CANGW, OSGi-FWを実行状態にしておく.



2.2 Clientからプログラムを実行し、動作を確認

REST(POX)Clientで返信されたレスポンス(XML)

```
ClientPOX Request START.  
ClientPOX Request SUCCESS  
ResponseMessage :  
レスポンスヘッダ  
  null: [HTTP/1.1 200 OK]  
レスポンスコード [200]レスポンスメッセージ [OK]  
  
---ボディ---  
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  
<soapenv:Envelope xmlns:soapenv="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/" xmlns:xsd="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/">  
  <soapenv:Body>  
    <getStateResponse soapenv:encodingStyle="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/">  
      <getStateReturn xsi:type="xsd:string">lock</getStateReturn>  
    </getStateResponse>  
  </soapenv:Body>  
</soapenv:Envelope>  
ResponseTime    : 31ms
```

SOAPClientで返信されたレスポンス(レスポンスメッセージのみ)

```
ClientSOAP Request START.  
ClientSOAP Request SUCCESS.  
ResponseMessage lock  
ResponseTime    : 253ms
```

同じレスポンス

○ 実装の目的

提案されたアーキテクチャ, 及び実装内容(プログラム)の理解

○ 実装の結果, 考察

- 目的(アーキテクチャの概要, プログラム内容)を理解することができた
- 試行回数が多くはないので確定的ではないが, SOAPとREST(POX)の応答時間の比較を行い, 実際にREST(POX)の方が早いことが確認できた

○ 実装の課題

- 他機能の実装
- 正確な応答時間の測定
- 課題とされていた点の解決方法の模索

- 前回調べたNGTPは主に車外側中心で、今回のOSGiを用いた技術は車内側中心である。
今後、どちらを軸に研究を進めていくのか、また、それらの技術を応用できないかを考えたい。
- NGTP, OSGiについて、資料を読み理解する段階を終え、疑問点や問題点を発見、追求していきたい。

4. 参考文献

- IT用語辞典 e-Words(<http://e-words.jp/>)
- 青山幹雄 ほか：車載ソフトウェアのサービスプラットフォームのモデルアーキテクチャ 自動車技術会 学術講演会前刷集
- 濱千代正弥、片桐雅仁：自動車ネットワークサービスの連携アーキテクチャ